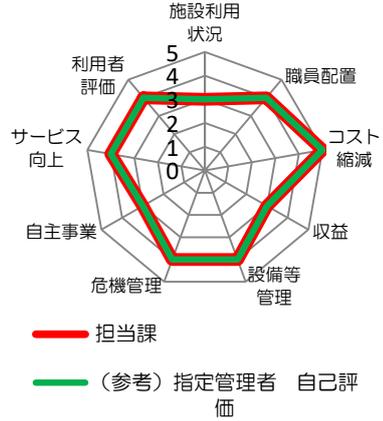


モニタリングの対象期間
R5.4.1~R6.3.31

モニタリング結果の概要

1	施設名	松山市総合福祉センター		施設数	1	4	評価区分	担当課	指定管理者		
	指定管理者	(社福)松山市社会福祉協議会					施設利用状況	3	3		
2	職員数	常勤	14	非常勤	0	管理状況	職員配置	4	4		
	指定期間	H31.4.1 ~ R6.3.31			コスト削減		5	5			
	担当課	長寿福祉課			収益		3	3			
	主な業務	1.センターの管理に関する業務 使用の許可、施設・付帯設備及び備品の維持管理 2.センターの運営に関する業務 福祉活動の中核的役割を担う拠点施設としての事業展開 3.その他市長が管理上必要と認める業務					設備等管理	4	4		
		自主事業の実施	3	3	危機管理		4	4			
サービス向上		4	4	自主事業の実施	3	3					
利用者評価		4	4	サービス向上	4	4					
3	年度	事業収支 (千円)		利用者数	5	サービス向上のための取組み(実績)					
		コスト	収益			○福祉、ボランティアに関するパンフレット(情報)を手に取れるよう配置した ○社協事業等のパンフレット・チラシ等を作成し、掲示板等を活用するなど、より広く市民等に啓発した ○「ご意見箱」を常設(3箇所:1階・4階・5階)や利用者アンケートの実施によるニーズ把握を行い、改善できるものは即座に対応を図った ○定期的な巡回を通して施設維持管理(修理箇所)の把握に努め、早急な対応を図った					
	R3年度	221,479	894	31,810		6	前年度の課題と改善策		7	担当課コメント(評価・指摘事項)	
	R4年度	228,117	802	64,854			前年8月8日から新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行し、施設利用制限を解除したことによって、前年度に比べてセンター利用者数が増加しており、徐々にコロナ禍以前の賑わいを取り戻しつつある印象である。コロナ禍による活動制限が緩和されたことにより、センター内で開催される行事や展示の機会が増加し、認知症に関する講座や健康講座や福祉センター-給付管理推進事業においては、認知症理解啓発事業と連携することで、センターの認知症に加え、認知症に対する理解啓発を行うことができた。コロナ禍を経て4年ぶりの開催となった若草福祉まつりは前年度(令和元年)時の内容を踏襲して実施した。多くの参加団体から前年について取りの声を頂戴した一方で、来場者は前年とほぼ同等とあり、前年度同時期の延べ3,900名から減少する結果となった。センターの認知症の要となるイベントであるため、実施内容の変更も検討し、来場者数の増加につなげたい。			新型コロナウイルス感染症の令和5年5月8日からの5類移行に伴い、各種事業を再開し前年に比べ利用者を増加させた点は評価できる。アンケート実施等により、利用者のニーズに対応する取り組みは評価できる。フェイスブックやHP等、様々なツールを使用した積極的な広報活動を行っていることは評価できる。	
	R5年度	242,531	1,028	85,264			日常的に行う巡回や中央監視室との情報共有によって、施設の維持管理を行っているが、開館から30余年が経過しているため、経年変化・老朽化による施設設備の不具合が頻発している。適宜修繕対応は行っているが、今後も主管理と連携を密に施設維持管理を行い、来館者のサービス向上及び安心・安全に活動できる施設運営に努めていきたい。			防災訓練等を拡充し、危機管理体制の維持・向上への取り組みは評価できる。	
対前年比	106.3%	128.3%	131.5%								



- 【職員数】**
現在、施設を維持管理するために配置されている指定管理者の職員数です。
- 【主な事業】**
指定管理者がこの施設で行っている業務・活動内容です。
- 【事業収支(コスト・収益)】**
当該年度を含む3年度分の指定管理者と市のコスト・収益の合算額を表示しています。「対前年比」は「R5年度実績/R4年度実績」の計算により算出しています。
- 【5段階評価】**
9項目についての、担当課と指定管理者の評価です。
 - 《判定基準》
 - 5: 指定管理者のノウハウや努力により、目標水準を大きく上回る成果が得られた。
 - 4: 協定や仕様書を遵守の上、目標水準をやや上回った。
 - 3: 協定や仕様書の内容どおり業務を履行し、目標水準どおりだった。
 - 2: 概ね協定や仕様書どおりの業務を履行したが、目標水準をやや下回った。
 - 1: 市の指導・助カ・助言等を受けても、協定や仕様書の内容を遵守できておらず、得られた成果は、目標水準を大きく下回っていた。
- 【サービス向上のための取組み(実績)】**
指定管理者が実施したサービス向上のための取組みや自主事業を挙げています。
- 【前年度の課題と改善策】**
指定管理者と担当課が認識している前年度(R5)の課題と、今後の改善策の内容です。
- 【担当課コメント(評価・指摘事項)】**
前年度(R5)の指定管理者の業務に対する評価事項、改善すべき指摘事項についての担当課のコメントです。
 - 《9つの評価項目の内容》
 - 施設利用状況…施設利用者数の実績
 - 職員配置…効率的な業務実施のための的確な職員配置
 - コスト削減…管理経費削減の実績、指定管理料の適正な執行等のコスト削減に向けた取組み
 - 収益…収益実績、料金設定の見直し、PR等の収益増に向けた取組み
 - 設備等管理…台帳の作成や目視確認、不具合の抽出等、施設・設備・備品の適切な管理
 - 危機管理…マニュアル整備や訓練の実施等
 - 自主事業の実施…指定管理者の経費負担、企画立案で実施した取組み
 - サービス向上…サービス水準維持・向上のための取組み
 - 利用者評価…利用者アンケート等による評価